

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		障害児保育園ヘレン中村橋		公表日		2026年3月5日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	日々の活動において、お子さんの発達段階に応じた保育が行なえるようグループに分けての活動も実施しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	6	配置基準は満たしていますが、スタッフの休暇等へ柔軟に対応出来るよう、複数園勤務看護師の運用や他園からのヘルプの調整等を実施して参ります。またスタッフ採用に関しましては財務、経営面を十分考慮しながら慎重に検討して参ります。	・児童全員が登園となった場合に、スタッフがお休みになると予定していた活動を十分にできないことが考えられる ・障害児保育の知見経験を持ったスタッフの確保や育成が必要	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	施設設備はバリアフリーになっていますが、園児の医療器具や座位保持椅子などが揃うとスペースを取られてしまい、園児の空間がどうしても狭くなってしまつたため、こまめに物品を空いた部屋へ移動をさせて子どものスペース確保に努めます。	施設設備はバリアフリーになっていますが、児童の体調状態により器具、装具を数種類使用するので児童の状況や登園人数でスペース確保が難しくなる場合があります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	児童は臥位、座位で過ごすため、床のちりあほごりの吸い込みを軽減するため、こまめな換気、清掃を実施します。おむつ替えに関しては手袋の運用で対処しています。	すぐに手を洗えないことに不便を感じるがありますが、トイレ、おむつ替えスペースをでたところに手洗い場があり、右記の工夫で対処します。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	スヌーズレン室や相談室を必要に応じて個室にしております。また活動室内にパーティションを立てて児童に合わせたスペースを確保することもあります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	職種の異なるスタッフ(保育、看護、リハなど)同士で話し合い、改善策を出す体制になっています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	「保護者等からの事業所評価」の集計結果内容をスタッフへ周知します。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	適宜スタッフの話し合いの機会、時間を設けていきます。些細な事でも「話すことが出来る環境」を設け、信頼できるスタッフ関係を築きたいと思えます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		第三者による外部評価は行っていませんが、実施については検討を継続しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0			

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	児発管、保育スタッフが中心となって作成している支援計画の内容について、モニタリング時から看護やリハスタッフにも参加依頼し意見を求めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	アセスメントチェックの内容を全園の児発管を集めたミーティングで検討しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	・支援後の振り返りを行う時間は、送迎対応もあり、確保できないため実施は難しくなっています。	そのため、「日々の記録」の回覧や朝礼等を通して情報共有を実施しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		会議には業務や保育状況の必要に応じて担当者に声掛けをして参加をお願いしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	子ども発達支援センター、自治体の保育課担当などの連携機関との情報共有関係を築いています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		必要性に応じ、各関係機関と連携をとって参ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		

関係機関や保護者との連携	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	近隣保育園の園庭開放に積極的に出向いて、交流機会を作っています。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		現在家族支援プログラムに沿った支援は実施していませんが、必要に応じて導入を検討してまいります。
保護者等への説明	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		変更があった場合など周知共有するようにしています。
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
保護者への説明等	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	5月に保護者会、10月に親子交流会の機会を設けています。	
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	・自園で年4回園通信の発信をおこなっています ・法人の主管事業部が中心となり、利用児童、保護者向けにイベントのレポート、事業活動の動向について月1回程度の頻度で発信をおこなっています	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
非常時等の対応	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
非常時等の対応	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1		